

事業報告書 (令和3年度)

事業名 自然探検「セミの抜け殻調査」

団体名 特定非営利活動法人岡山市子どもセンター 担当者名 道仙八代己

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

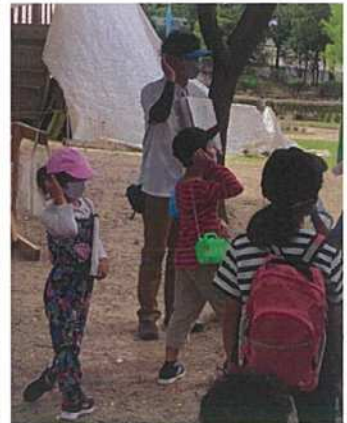
1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）	
日 時	令和3年7月18日（日）9時～12時
場 所	国際児童年記念公園こどもの森（岡山市北区学南町3-6-1）
参加対象者	岡山市在住の4歳以上の子どもとその保護者
参加人数	30人
内 容	講師と一緒に、親子で自然に触れながら公園内を散策し、五感を使って自らが発見する楽しさを体感することを目的に、公園内を散策しながら、セミの抜け殻を探し、集める。集めた抜け殻を種類別にし、その個数を調べ可視化する。昨年度までの調査結果と比較し、発見したことや考えたことなどを発表し合い、様々な考え方を知る。集めた抜け殻と自然の素材を使って各々がオブジェを創る。感想を書く。
講 師	山田哲弘さん（環境カウンセラー）
広 報	5月実行委員会を立ち上げ、講師との打合せの後、参加者募集をチラシやHP、FBなどで行った。チラシは市内公民館とこどもの森で開設しているプレーパークで配布した。
2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ	
継続してセミの抜け殻調査を行い、単年度でのセミの抜け殻の個数とこれまで行ってきた調査記録とを対比させ、各々の気づきや発見を可視化しました。 今年度は、まとめ集を作成するため、過去の天候（気温、降水量）データや他都市の事例と照らし合わせ、継続して参加している小学生や中学生との考察の会を設け、自然科学分野の専門家（大学教授、大学生）の意見も聞き、まとめ集に反映させました。 子どもたちと共に考察をすることで、互いに学ぶことが多く、自然環境の変化、生命の循環について関心を深めることができ、今後の調査に活かすことができると考えています。	
3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）	
※事業内容がESDにどう貢献したか等を記入してください。 この活動に参加した保護者から「子どもが『セミの抜け殻を見つけた！今年は早い？』と嬉しそうに報告してくれた」という声が届きました。この調査に参加したことで知らなかった分野に興味関心が高まり、日常的な会話に繋がっています。 また、まとめ集（リーフレット）を作成していく過程で、参加した子どもたちから、セミの羽化の時期やセミの生態や環境との関係についても発表があり考察力が育まれていました。子どもたちのこの気づきがこれからの生態系や環境について広い視野で考えていく基礎になると考えています。	
4. 今後の課題と展望	
継続して参加している子どもたちの新たな発想の企画が加わるとよいと考えています。そのために子どもたちの興味関心を大切に、大学生や専門家とつながり様々な意見を取り入れ考察できるよう、継続した活動にしていきたいと思えます。	



探検の始まり



注意事項説明



五感を使って



こどもの森を探検中



セミの卵発見



種類分けと個数調べ



思い思いにオブジェの制作



【感想】

- ・セミがしっかり木や葉につかまっていてびっくり！抜け殻なのにすごい！
- ・普段は子どもが取るだけでしたが、今日は私も童心に戻りました。
- ・抜け殻を探すのに、上を向いたり下を見たりするので、色々な生き物や植物を見つけられた。
- ・木に触ったら、ザラザラしていた。
- ・ぬけがらで作品を作れて楽しかった。